

# 令和4年度 学校関係者評価表

(自:令和4年4月1日 至:令和5年3月31日)

- ◆ 実施日:令和5年3月27日(月)
- ◆ 場所:モア・ヘアメイクカレッジ事務所
- ◆ 学校関係者評価委員
  - <学識経験者> 崇城大学芸術学部名誉教授 岩上 孝二
  - <美容関係企業及び業界団体>
    - 株式会社きくや美粧堂 幸若 晋平
    - TRAP HAIR 寺田 裕一
  - <本校卒業生> NIWA hair 野田 瞳
  - <保護者> 一村 智弘
  - <学校代表> 施設長 松本 栄子
  - 学校長 松嶋 浩明
  - 事務長 畑中 邦英

専修学校モア・ヘアメイクカレッジ

令和5年3月27日(月)

◆評価項目の達成及び、取組状況

(基準 1) 教育理念・目標

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	4
2	学校における職業教育の特色は設定されているか	4	4
3	社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	4
5	各学科の教育目標・育成人材は、学科等に対応する業界のニーズに向けた方向づけがなされているか	4	4

評価項目	自己評価	学校関係者評価
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育理念・目標は教員の意識として十分浸透している。引き続き学校が楽しい学びの場として活性化が図られるよう学生主体に立った課題を提供できるよう今まで以上に努める。</li> <li>・ 次世代リーダー育成プログラムやトップサロンゼミをスタートさせることによりこれからの美容師として業界をリードできる多様な美容師の生き方や取り組みができるよう支援する。</li> <li>・ TikTok やインスタグラムなどで学生がイメージしやすい 20 代の美容師像だけでなく、最先端の美容技術に加え、今後流行しそうな技術を先取りし積極的に指導できるようにする。</li> <li>・ 本校の教育理念・アドミッションポリシー・教育目標・教育方針としては、学校教育法、美容師法、中小企業等協同組合法に基づき、美容経営者が協業精神と相互扶助精神を持ち、美容師としての資質向上や高い技術スキルでの美容師育成を目指すとともに、社会人及び職業人として自立精</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本校は熊本市内の美容室で設立した共同組合立の学校で、業界の発展に産学が協働して努めていると思います。職業訓練の特色もしっかり設定されていることを評価します。</li> <li>・ 次世代リーダー育成プログラムやトップサロンゼミをスタートされるという取り組みに期待します</li> <li>・ 引き続き、今後も業界の発展のために学校の理念に基づき学校教育がなされることを期待します。</li> <li>・ 高校生がイメージしやすい TikTok やインスタグラムの積極的な活用は素晴らしいことだと思います。</li> </ul>
② 学校における職業教育の特色は設定されているか		
③ 社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか		
④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか		
⑤ 各学科の教育目標・育成人材は、学科等に対応する業界のニーズに向けた方向づけがなされているか		

	<p>神を涵養し、また美容業を通じてお客様の「美と健康(ビューティーアンドヘルシー)」を提供することができる美容師養成を目標としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学外に対しては、ホームページ、募集パンフレットで開示し具体的に示している。また入学生に対しては、教職員が入学前説明会及び初日オリエンテーションで周知している。</li> <li>・ 教育内容については他校との個性ある差別化とその向上を図るべく、理念・教育目標の実現に向け教育課程表を適時見直している。</li> <li>・ 課題は解消されていると考えているが、新たに課題が見つかり次第対応する。</li> </ul>	
--	--	--

(基準 2) 学校運営

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確に具現化したり、有効な機能化を図っているか	4	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	4
5	教育、財務等の組織整備など意思決定システムは、整備されているか	4	4
6	業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4

評価項目	自己評価	学校関係者評価
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか ② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確に具現化したり、有効な機能化を図っているか ④ 人事、給与に関する規定等は整備されているか ⑤ 教育、財務等の組織整備など意思決定システムは、整備されているか ⑥ 業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか ⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営委員会で意思決定した運営方針や事業計画に基づいて学校運営については実施している。</li> <li>・ 運営方針や事業計画の精度また実行する為の人員の養成は怠る事なく今後も遂行していく。</li> <li>・ 学校運営を行うための諸規程や諸規則については適切に整備しており運営している。</li> <li>・ 教育活動に関する情報は適時HPなどで公開している。</li> <li>・ 今後は重要になってくるSNSを利用した情報公開を発信するにあたりその内容編集等の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営方針の策定、事業計画の策定は良好であると思われます。</li> <li>・ 意思決定機能については、校長をはじめ、管理職で協議しすべての職員に伝達されていることが見受けられます。</li> <li>・ 情報公開等については、引続き公開し、広く周知されることを期待します。</li> </ul>

(基準 3) 教育活動

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
2	教育理念、育成人材像等や業界のニーズに踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発は実施されているか	4	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携を考慮したカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4
6	関連分野における実践的な職業教育(産業連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	4	4
7	授業評価に係る評価体制の確立、及び実施はなされているか	4	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
9	成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4

10	資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われている	4	4
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	4

評価項目	自己評価	学校関係者評価
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育理念等に沿って必要な接客技術や清掃等の指導のほか、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力は育てている。</li> <li>・ 就職については、ほぼ全員が美容業界への就職ができており学修成果として表れている。</li> <li>・ 美容師国家試験においてはコロナ禍においても最大限のサポートを尽くし、結果全国平均を上回る合格率をあげている。また不合格者へのフォロー体制は整えている。また学校行事であるスポーツ大会を3年ぶりに復活させたり、ライブハウスでのヘアショーでは最新の装置を駆使し生徒が斬新なアイデアを出し合い開催した。</li> <li>・ 就職・資格取得、学生動向等については随時外部関係者からの評価を取り入れながら取り組んでいる。あわせて業界のニーズを踏まえてカリキュラムの作成・見直しは行っている。</li> <li>・ 学生に対してはシラバスで各教科の到達目標を示している。</li> <li>・ その他各授業時間の最終ゴールとスケジュールを示し授業を進めている。</li> <li>・ 選択授業においては学生への負担を軽減するよう、授業料は別途徴収せずに複数選択を可能にし、好みと適性を見つけやすくして</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この分野においては的確に、教育理念等に沿って遂行されていると思います。特にキャリア教育や実践教育が高いレベルで実施されているように思います。</li> <li>・ 選択授業制で自分に合った技術の習得、カリキュラムの選択で他校にない独自の教育を高く評価します。</li> <li>・ 教員一人一人が美容業界や業界に関わるニーズをいち早く察知し、生徒への教育に落とし込まれている様子は、大変素晴らしいと思います。</li> <li>・ 学校行事であるスポーツ大会を3年ぶりに復活させたことやライブハウスでのヘアショーを開催できたことは学校全体として考えても良かったと思います。</li> <li>・ 教員自らサロンで技術研鑽を行い学校教育に落とし込むことを高く評価します。</li> </ul>
② 教育理念、育成人材像等や業界のニーズに踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか		
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか		
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発は実施されているか		
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携を考慮したカリキュラムの作成・見直し等が行われているか		
⑥ 関連分野における実践的な職業教育(産業連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか		
⑦ 授業評価に係る評価体制の確立、及び実施はなされているか		
⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか		
⑨ 成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか		
⑩ 資格取得に関する指導体		

<p>制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</p> <p>⑪人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</p> <p>⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか</p> <p>⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか</p> <p>⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか</p>	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生の美容に対する意識と美容業界に対する意識の多様化に伴い、授業科目も必要に応じて変化させる。</li> <li>・ 学生に対してのファッション情報や求められる人材情報を提供できるよう常に、組合立の専修学校の特性である美容関連業界とのネットワークを生かす。</li> </ul>	
--	---	--

(基準 4) 就学成果

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	就職率の向上が図られているか	4	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4	4
3	退学率の低減が図られているか	4	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	4

評価項目	自己評価	学校関係者評価
<p>① 就職率の向上が図られているか</p> <p>② 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>③ 退学率の低減が図られているか</p> <p>④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</p> <p>⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年々早まる就職活動に対する学生支援対策を講じられるよう組合立の専修学校としての全国ネットワークによって学生が希望する企業への就職率や国家試験合格率を100%に近い数値を維持できるようにする。</li> <li>・ 教職員が一体となり、就職・資格取得、学生動向等の向上に向けて取り組んでいる。</li> <li>・ 就職支援、離職率の低減に繋が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この分野においての就職率や美容師国家試験並びに、検定試験取得率については、教員の授業成果を評価します。今後もさらに合格率のアップ並びに継続を期待します。</li> <li>・ 退学率においても昨年に続き改善が見られます。今後も退学率の軽減継続を期待します。</li> <li>また、卒業生の講話は学生に</li> </ul>

<p>の改善に活用されているか</p>	<p>るよう、年度初めには卒業生の就職講話を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題発見・学生対応のスピード、学生・保護者との人間関係の構築など、担任力の強化等の問題は都度見直し整備している。</li> <li>・ 資格取得(国家試験合格率)の向上、退学率の低減の仕組みについては都度見直し整備している。</li> <li>・ 学生への刺激になり美容の楽しさを知ってもらえるよう卒業生のSNSを通じてのネットワークをさらに広げる。また卒業生との合同で行うヘアショーやコンテスト等のイベントを通して卒業生の現状把握につなげている。</li> <li>・ 卒業生のキャリア形成のため信頼関係を築けるよう努めている。また卒業後も情報を共有し合える関係が維持できるよう、在学時からその関係構築に努める。</li> </ul>	<p>とって大変興味のあることと思いますので、今後も毎年実施され就職活動に生かされることを希望します。</p>
---------------------	---	---

(基準 5) 学生支援

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
7	保護者と適切に連携しているか	4	4
8	卒業生への支援体制はあるか	4	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	4
10	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	4

評価項目	自己評価	学校関係者評価
<p>① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>② 学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</p> <p>④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</p> <p>⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか</p> <p>⑦ 保護者と適切に連携しているか</p> <p>⑧ 卒業生への支援体制はあるか</p> <p>⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</p> <p>⑩ 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本校の新しい取り組みとして、卒業生であるサロンの現役スタイリストによるトップサロンゼミを開催し美容の楽しさや就職についての話などができる機会を作っている。</li> <li>・ 学生支援のための奨学金制度、一人暮らしのためのセキュリティ性の高い住居の紹介など様々な支援体制は整備している。</li> <li>・ 業界団体の支援のもと、教育や職業教育の取り組みは行っている。</li> <li>・ 入学前から持病のある生徒の症状を把握し、発症時の応急処置等の対策は必要に応じ整備している。</li> <li>・ 持病のある生徒の情報は随時職員全員で共有している。</li> <li>・ 年一回の健康診断は実施している。</li> <li>・ 国家試験不合格者へは、夏の国家試験に向けて無料で授業をしておりフォローはしている。</li> <li>・ 現役の美容師でもある教員がサロン目線で、学校では学べないような特別指導に当たる課外活動を行っている。</li> <li>・ 例年であれば在校生と卒業生（卒業後3年以内）の合同イベントとしてカットコンテストを市内中心部で実施し、卒業生の支援は行っていたが本年度はコロナ禍で中止せざるを得なかった。来年度は再開できる体制は整えておく。</li> <li>・ 今後は学生支援の質を向上させ、よりきめ細やかな実態に即した支援体制を整える。組合立の専修学校という特性を活かして、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この分野は就職に関する相談は細やかに実施をされていることが就職率からも推測できます。また、個々に抱える相談や悩みごとなどについても教職員で対応されていることは必要だと思います。</li> <li>・ 家庭環境において、昨今では様々な環境下の生徒がいる中、個々の対応が予想されませんが、環境づくりをお願いします。</li> <li>・ 今年度も、コロナ禍の中保護者との連携（面談）が取りにくかったとのことですが、必要に応じて電話等で連絡したとのことでは保護者も安心されたのではないのでしょうか。国からもマスク無しの方針が打ち出されましたが今後コロナ感染がもっと収束した後は、例年通り面談をされることを期待します。</li> <li>・ 課外活動についても今よりコロナ感染の収束に近づいてきたら、社団法人熊本美容師会と連携のもと実施ができるようになることを期待します。</li> </ul>



	<p>参加事業主に拠る学生支援は他に比べ充実している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の美容業界を支える人材確保のため現状より進化したキャリア教育・職業教育の向上を目指す。</li> <li>・ 保護者と学生・担任教員の三者面談を1年次(10～11月)に1回、2年次(6～7月)に1回、全学生に対し行っている。</li> </ul>	
--	--	--

(基準 6) 教育環境

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4	4

評価項目	自己評価	学校関係者評価
<p>① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</p> <p>③ 防災に対する体制は整備されているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災への関心は熊本地震後強く意識しており、今後はより防災意識を高めるために必要な組織を見直しさらに新しく構築するとともに、現在実施している防災訓練を継続維持する。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対策については引き続き学校全体として進めていく。</li> <li>・ 消防法に定められている項目はクリアしている。</li> <li>・ 総合的な防災訓練については積極的に実施し取り組んでいる。</li> <li>・ 施設・設備は、教育上の必要性に対応できるよう整備している。</li> <li>・ インターンシップについては各連携企業の協力のもと実施しており教育体制は整備されている。連携企業との実習内容の摺合せは機能している。</li> <li>・ AEDを設置しており安全面でも</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターンシップ制度については、コロナ禍の中でも対策を講じて、生徒全員が参加されたことは就職にもつながると思うことで貴重な経験になると思います。</li> <li>・ 防災についても避難訓練の実施等今後も継続が必要と思います。また、ハザードマップ等の確認など事前に出来る安全対策を今一度確認をお願いしたい。</li> </ul>

	整備している。	
--	---------	--

(基準 7) 学生の受け入れ募集

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	4

評価項目	自己評価	学校関係者評価
① 学生募集活動は、適正に行われているか ② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ③ 学納金は妥当なものとなっているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒募集には厳しい現状であるが組合立の強み(美容業界を熟知している)を活かした広報活動をさらに拡大し、本校だけにとどまらない少子に伴っての生徒獲得は急務である。</li> <li>・ 広報費については費用対効果を吟味して、学生募集活動に活かしている。</li> <li>・ 学校説明会(オープンキャンパス)の実施、オープンキャンパス、ヘアショー、校内外カットコンテストの開催など、学生確保のため最善の努力はしている。</li> <li>・ Tiktok、Instagram、YouTube、Twitter 等 SNS での学校のイメージ戦略については、閲覧数からも成果は少しずつ出ていると考える。</li> <li>・ 広く本校の知名度アップを行なえるよう SNS による更なる魅力発信、拡散。また組合加盟店・協力店を再整備することを改善事項と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この分野は SNS の対策を講じて昨今の状況を踏まえタイムリーな情報発信を期待します。ホームページのリニューアルもスマートフォン対応とのこと、閲覧対象を鑑みると良いと思います。</li> <li>・ 今年度は高校生参加型のヘアショーが実施出来て今までにない盛り上がりだったことは youtube 等で視聴しました。次年度もさらに高校生の皆さんが憧れる内容のヘアショーになる事を期待します。</li> <li>・ 学納金は九州内の美容学校と比較しても安く設定されておりまた、適正と思います。金額は募集活動にも繋がっていると予想します。</li> </ul>

(基準 8) 財務

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4

2	予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4

評価項目	自己評価	学校関係者評価
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ② 予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ③ 財務について会計監査が適正に行われているか ④ 財務情報公開の体制整備はできているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育活動を安定的かつ継続的に進めるための財務基盤および適正な財務管理はできている。</li> <li>・ 学校運営は組合から教職員に委託された事業であるので、事業計画・収支計画など運営にかかわる体制協は図っている。</li> <li>・ 協同組合立法にのっとり中央会への財務報告は行っている。予算編成、計画立案に関する財務情報はホームページにて公開している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この分野も明朗に実施されていると思います。今後も充足率(定員)100%を目指し、健全な財務状況の継続を望みます。</li> </ul>

(基準 9) 法令等の遵守

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
3	自己評価の実施と問題点の改善が行われているか	4	4
4	自己評価結果を公開しているか	4	4

評価項目	自己評価	学校関係者評価
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ③ 自己評価の実施と問題点の改善が行われているか ④ 自己評価結果を公開しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広義でのコンプライアンスだけでなく、日常発生する様々なトラブル解決を図るための問題意識の向上を図る。</li> <li>・ ホームページで広く一般に自己点検評価報告は公開している。</li> <li>・ 専修学校設置基準や関係法令の遵守を徹底した適正な運営はされている。</li> <li>・ 専修学校設置基準など関係法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この分野も問題なく実施されていると思います。WEB 環境などセキュリティについては継続し、万全を期すことを希望します。</li> <li>・ 自己評価においても実施され特に問題点は見当たらないが、改善が必要な部分は適宜改善を希望します。</li> </ul>

	<p>令や学内規程を遵守した適正な学校運営は行っている。 法令順守に関する啓蒙は実施されている。</p>	
--	--	--

(基準 10) 社会貢献・地域貢献

No.	評価項目 【適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1】	自己評価	関係者評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献が行われているか	4	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	4

評価項目	自己評価	学校関係者評価
<p>① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献が行われているか</p> <p>② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p> <p>③ 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本毎日郊外または周辺の清掃活動を実施している。</li> <li>・ コロナ禍以前は熊本県知的障害者施設協会主宰のイベントに参加していたことから、機会があれば交流の場をつくる。また今後も多岐にわたり積極的に参加する。</li> <li>・ 地域に対する教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施している 今後本校がどのような形で社会貢献に参加できるかを検討し実施できるボランティアがあれば、積極的に取り組んでいく。また学校でも奨励・支援していく体制を在校生に周知していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域に根差したサロンを持つ本校なので、引き続きコロナ感染が収束した後には、地域に密接したボランティア活動などを積極的に実施することを期待します。</li> <li>・ 企業との協働事業や業界の発展にも寄与されており、今後の継続を希望します。 また、ネイル検定試験の認定校であることを踏まえ、ネイルリストの排出にも寄与されることを期待します。</li> </ul>